



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月29日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画グループマネージャー (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	16,589	△22.9	1,075	△36.8	△97	—	△290	—
2020年3月期第2四半期	21,512	6.6	1,702	△33.0	1,471	△47.5	936	△59.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △285百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 902百万円 (△60.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△4.08	—
2020年3月期第2四半期	13.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	90,059	47,547	52.7
2020年3月期	87,118	48,262	55.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 47,417百万円 2020年3月期 48,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2021年3月期	—	6.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,200	△22.7	2,700	△33.6	300	△91.9	△400	—	△5.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	71,270,910株	2020年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	98,097株	2020年3月期	97,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	71,172,935株	2020年3月期2Q	71,173,149株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料、決算説明会内容の入手方法）

・決算説明会は、2020年11月12日に開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、輸出の減少や企業収益が悪化するなど極めて厳しい状況となりました。景気の先行きについても、各種政策の効果等による持ち直しの動きが期待されるものの、感染症が内外経済を下振れさせるリスクを注視する必要があり、不透明感の長期化が懸念される状況にあります。

当社グループの事業については、金属チタン事業において航空機業界の生産活動低下によりスポンジチタンの需要が大幅に減少するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした中、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高165億89百万円(前年同期比22.9%減)、営業利益10億75百万円(同36.8%減)となりました。経常損益は、昨年10月にスポンジチタンの生産を開始したサウジアラビアの合弁会社に係る持分法投資損失の計上等により97百万円の損失(前年同期は14億71百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は2億90百万円の損失(前年同期は9億36百万円の利益)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

金属チタン事業

当第2四半期連結累計期間における金属チタンの販売については、半導体用途向けは堅調であったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により航空機向けが落ち込み、一般工業向けも低調であったことから、全体としては前年同期を大きく下回る水準で推移しました。

スポンジチタンの生産に関しては、需要の減少を受け国内拠点において2020年5月より減産する操業体制としました。

また、原料となるチタン鉱石価格は高止まりが継続しております。

こうした状況のもと、同期間の金属チタン事業は、売上高は81億54百万円(前年同期比44.1%減)、営業損益は39百万円の損失(前年同期は9億45百万円の利益)となりました。

触媒事業

当第2四半期連結累計期間の触媒事業の販売については、主要製品であるプロピレン重合用触媒の市場において、自動車用途向けポリプロピレンの需要に弱さが見られたものの、包装用途・医療用途向けが好調に推移したことなどにより、前年同期並みの水準となりました。

こうした状況のもと、同期間の触媒事業は、売上高は33億97百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益は13億5百万円(同6.1%減)となりました。

化学品事業

当第2四半期連結累計期間の化学品事業の販売については、主要製品であるニッケル粉に関して、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に車載向け等の需要減速の影響はありましたが、通信関連用途の需要が減退した前年同期との比較では増販となりました。

こうした状況のもと、同期間の化学品事業は、売上高は50億37百万円(前年同期比50.7%増)、営業利益は12億33百万円(同115.3%増)となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区分	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	8,154	14,593	△44.1%
触媒事業	3,397	3,575	△5.0%
化学品事業	5,037	3,343	50.7%
合計	16,589	21,512	△22.9%

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区分	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	△39	945	—
触媒事業	1,305	1,390	△6.1%
化学品事業	1,233	573	115.3%
全社費用	△1,424	△1,206	—
合計	1,075	1,702	△36.8%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売掛債権等の減少はありましたが、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末比29億41百万円増の900億59百万円となりました。

負債の部は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末比36億56百万円増の425億11百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や配当金の支払い等により、前連結会計年度末比7億14百万円減の475億47百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.2%から52.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は20億81百万円と期首に比べ5億60百万円の減少となりました。キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億55百万円の支出となりました。これは減価償却費26億95百万円、売上債権の減少20億22百万円等の資金増加要因の一方で、たな卸資産の増加61億51百万円、未払金の減少3億57百万円等の資金減少要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、38億58百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出36億5百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、44億54百万円の収入となりました。これは長期借入金の純増額41億49百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想（2020年7月30日）を変更しておりません。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,641	2,081
受取手形及び売掛金	7,455	5,458
電子記録債権	49	23
商品及び製品	12,696	17,240
仕掛品	6,073	5,198
原材料及び貯蔵品	5,905	8,388
未収入金	2,993	2,624
その他	685	701
流動資産合計	38,502	41,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,414	12,217
機械装置及び運搬具（純額）	19,836	19,311
工具、器具及び備品（純額）	200	204
土地	2,219	2,219
リース資産（純額）	3,193	2,936
建設仮勘定	2,861	4,628
有形固定資産合計	40,725	41,518
無形固定資産		
ソフトウェア	136	141
ソフトウェア仮勘定	764	937
その他	44	41
無形固定資産合計	945	1,119
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	3,731	2,696
繰延税金資産	2,392	2,245
退職給付に係る資産	82	86
その他	733	670
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,944	5,704
固定資産合計	48,616	48,342
資産合計	87,118	90,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,450	2,343
短期借入金	19,581	19,961
リース債務	524	498
未払法人税等	380	195
賞与引当金	962	623
役員賞与引当金	92	0
その他	2,134	1,616
流動負債合計	26,125	25,240
固定負債		
長期借入金	8,823	13,592
リース債務	2,748	2,508
資産除去債務	1,158	1,170
固定負債合計	12,729	17,271
負債合計	38,855	42,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	23,721	23,003
自己株式	△76	△76
株主資本合計	48,630	47,912
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	9	—
為替換算調整勘定	△422	△456
退職給付に係る調整累計額	△88	△39
その他の包括利益累計額合計	△501	△495
非支配株主持分	133	130
純資産合計	48,262	47,547
負債純資産合計	87,118	90,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	21,512	16,589
売上原価	16,805	12,769
売上総利益	4,707	3,819
販売費及び一般管理費	3,004	2,744
営業利益	1,702	1,075
営業外収益		
物品売却益	9	7
その他	25	52
営業外収益合計	34	60
営業外費用		
支払利息	86	80
持分法による投資損失	—	1,079
為替差損	120	44
その他	58	28
営業外費用合計	265	1,232
経常利益又は経常損失(△)	1,471	△97
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	143	23
特別損失合計	143	23
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,328	△120
法人税、住民税及び事業税	163	27
法人税等調整額	225	143
法人税等合計	389	171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	939	△291
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	936	△290

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	939	△291
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△9
為替換算調整勘定	△32	△0
退職給付に係る調整額	△4	16
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△0
その他の包括利益合計	△36	6
四半期包括利益	902	△285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	899	△284
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,328	△120
減価償却費	2,614	2,695
賞与引当金の増減額(△は減少)	△319	△338
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△7	△4
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	86	80
持分法による投資損益(△は益)	—	1,079
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	143	23
売上債権の増減額(△は増加)	2,030	2,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△636	△6,151
仕入債務の増減額(△は減少)	△863	△107
未払金の増減額(△は減少)	14	△357
未払費用の増減額(△は減少)	△93	△136
未収入金の増減額(△は増加)	△570	384
未収消費税等の増減額(△は増加)	87	△100
未払消費税等の増減額(△は減少)	6	△16
その他	△162	166
小計	3,655	△882
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△87	△81
法人税等の支払額	△433	△194
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,136	△1,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,507	△3,605
無形固定資産の取得による支出	△28	△207
敷金の差入による支出	△109	—
補助金の受取額	309	—
関係会社株式の取得による支出	—	△45
その他	2	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,333	△3,858
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,700	11,700
短期借入金の返済による支出	△4,900	△10,700
長期借入れによる収入	—	6,000
長期借入金の返済による支出	△2,371	△1,850
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△279	△265
配当金の支払額	△854	△427
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△706	4,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,064	△560
現金及び現金同等物の期首残高	1,600	2,641
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,664	2,081

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響を含む先行きの見通しについて、金属チタン事業に関し、第1四半期末において当年度中は需要が低迷すると想定しておりました。当第2四半期末においては、同事業の需要減は当年度を含む3ヶ年程度は継続するものの、主要顧客との長期販売契約締結の影響などにより、2022年度にかけて販売が回復していくものと想定を変更しました。

触媒事業、化学品事業に関しては、第1四半期末の想定を大きく変更してはおりません。

上記の仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っておりますが、当該変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

なお、不確実性の高い上記の仮定に変化が生じた場合には、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績に影響が及ぶ可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,593	3,575	3,343	21,512	—	21,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	665	—	5	671	△671	—
計	15,258	3,575	3,349	22,184	△671	21,512
セグメント利益	945	1,390	573	2,908	△1,206	1,702

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,206百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,154	3,397	5,037	16,589	—	16,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	637	—	1	639	△639	—
計	8,792	3,397	5,038	17,229	△639	16,589
セグメント利益又は損失(△)	△39	1,305	1,233	2,499	△1,424	1,075

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,424百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2020年4月1日付で、事業分野・事業特性の違いを踏まえ、従来の「機能化学品事業統括本部」を廃し、「触媒事業部」及び「化学品事業部」を置きそれぞれ独立して事業運営する組織変更を行っております。

本組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「金属チタン事業」「機能化学品事業」から、「金属チタン事業」「触媒事業」「化学品事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。